

第2期ゆめ・みらい百人会議第2回全体会 会議要録

4つの仮グループに分かれて会議を開催

- ①行財政改革グループ
- ②福祉・健康・教育・文化グループ
- ③まちづくり・防災グループ
- ④観光・商工グループ

1. 開会

2. 事務局職員紹介

平成28年度の人事異動により事務局の体制が変わったため自己紹介を行なう。

地域生活部長	杉村 嘉弘
協働推進課長	秋山 尚弘
協働推進課 市民協働担当係長	山内 健次
協働推進課 市民協働担当	酒匂 徹

3. 事務局からの説明

第2期から委員になられた方は、百人会議の活動内容等も分らないと思われる。本日の会議では、委員同士の自己紹介や応募された動機などを話しあうことで、委員同士の交流を深めることに加えて、百人会議の今までの活動内容についても、理解を深めていただければと考えている。

仮のグループ分けをさせていただいており、全体でお話をするよりも、より多くの方が発言することができると思う。飲み物やお菓子を召し上がっていただきながら、席も自由に移動していただき、和気あいあいとした雰囲気の中で話し合いを行なっていただきたい。

○今後の方向性について

活動の参考としていただくために、今後の方向性について事務局案を説明。

(1) 今後のスケジュールについて

グループのリーダーや代表・副代表等は今後いずれ決めなくてはならないが、まだ1回しか顔を合わせていない状況のため、皆さんが話し合いできる場をもう少しだけ(2, 3回)作っていきたいと考えている。委員それぞれの考え方や1期の活動内容を知っていただきたい。皆さんそれぞれが名前と顔が一致するぐらいになってからでも、実際の活動を始めるのはけっして遅くないと考える。

顔見知りになって、グループが固まってきてから、リーダーや代表等を決めていただければいいと事務局側では考えている。

(2) 2年間の任期の活動成果について

1期の時は、委員からの提案、それに対する市からの回答といったことを行なったが、1期と同じ方法でやるのか、また違う方法を行なうのか、2期の皆さんが活動する中で決めていただいたことに対して、事務局として対応させていただく。

(3) グループ活動への事務局としてのサポート

活動の場となる会議室等については、第1期の時と同様に、使用料減免等のサポートをしていきたいと考えている。

4. 仮グループ別の自由協議

4つのグループに分かれて、特にテーマや進行役等を決めずに自由に話し合いを行なった。

5. 協議内容のグループ別発表

4つのグループが順番に話し合いを行なった内容を発表

①観光・商工グループ

今日はほとんどが自己紹介。委員が今までやってきたことや、それぞれが持っている思いを自由に話した。その中で主に出たことは、「木」のことや「お茶」についてであった。お茶を葉っぱごと飲むことを観光と絡めてできないか等、アイデア（ネタ）としてたくさん出てきた。具体的に出てきたわけではないが、そういったアイデアを自由に話し合い共有し合えた。

②まちづくり・防災グループ

前半は個人の自己紹介。集まった志望理由などから問題点がたくさん出た。前回の経験により自分達が動いていかななくてはいけないということから、どのように動いていくかという話し合いを行なった。

③福祉・健康・教育・文化グループ

委員の人数が38名のうち、今日出席されているのが24名ほどだが、これからさらに出席者が減ってしまうかもしれない。少し心配であるという話をした。

自己紹介を行なった後に、まずは貧困対策について話をした。2つ目は文化の継承、地域にある文化をいかに若い人達に継承していくかを話しあった。3つ目として、地域の活性化と地域の継承について話しあいを行なった。次に子供の教育、介護の問題についても意見交換を行ない、地域の助け合いの話も出て、いろいろな話をする事ができた。

④行財政改革グループ

前期と同じメンバーが集まっていて、新しい方の希望がなかったのも、特に自己紹介は不要であった。自分達の宣伝をさせてもらいたい。基本的な思いは「誇りある郷土の再生」で、焼津・藤枝に比べて島田は見劣りする。誇りを持てるまちを次の世代に残したいという考えで活動を行ってきた。前期では、市政の礎となる提言とうことで、情報の公開、人と組織、産業の分野で提言をさせてもらった。

どうしても行財政改革というと、まちをよくするためには、市の仕組みを変えてくださいとなってしまうため、ケチつけが多かったという印象を持たれた。今度はもう少し前向きな提言を行ないたいと思っている。

行財政はまちをよくするために、何ができるか、どこを直せばよいか、何をすればよいかという仕組みをどうするかという考え方となるため、中味そのものは何でも当てはまる。

第1期ではどうしても市の中に目がいつてしまったので、近隣のまちと比べていい所を取っていかうといった話をしていきたいと考えている。そのためにも、関心のある方、新しい方の視点・発想を入れていかないといけないため、この後話を聞きにきていただければありがたい。

前期の活動では、「来るものは拒まず、去るものは追わず」というスタンスでやってきたので、ぜひ話を聞きにきていただきたい。

6. 交流タイム

聞いてみたいグループに自由に移動して委員相互に交流を深めた。

第2回目の全体会は、第1回目に決めた4つの仮グループに分かれて、グループごとに、自己紹介や百人会議参加の動機、まちづくりに対する思いなどを、自由に話し合った。

どのグループの話し合いも盛り上がり、お菓子を食べながら、非常に和気あいあいとした雰囲気の中で話し合いが行なわれ、交流タイムでも、グループの枠を超えて委員同士が積極的に交流を図っていた。

次回の第3回全体会も、4つのグループを基準として自由な話し合いを行なう予定。

—第3回目全体会の日程—

5月21日（土）9：30～ 金谷北支所 集会室

7. 閉会